

# 九州大学工学部における取り組み

～シリコンバレー英語研修～

工学研究院 寺西 亮



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY

2024/2/6

# はじめに

- ・我が国のアウトバウンドは2000年以降低迷(この20年で3割程度減)
- ・海外に行って現地人との交流や異文化経験などの「海外体験」は国際感覚の醸成や向上、国際理解にとっても重要
- ・九州大学工学部では、国際社会で活躍する人材を育成するため、日本人学生向けに年2回、部局独自の海外短期留学プログラムを企画
- ・本講演ではこれらの取組を紹介する(コロナ禍による変更点あり)。

## <Engineering Leaders English Program>

実施期間:5週間 (2月~3月)

派遣先:米国・カリフォルニア州・サンノゼ

派遣人数:30人程度

受入機関:サンノゼ州立大学International Gateway

目的:

シリコンバレーにおける英語及びアントレプレナーシップ研修を通じて、イノベーションを起こす、グローバルに活躍できる人材を養成する



## <Qshu-Queensland Program for English Communication>

実施期間:5週間 (8月~9月)

派遣先:豪州・クイーンズランド州・ブリスベン

派遣人数:20人程度

受入機関:TAFE・クイーンズランド大学

協力機関:UQ-KU Project 九大研究教育拠点

目的:「英語によるコミュニケーション能力の向上」と「異文化交流」に焦点



## 九州大学 工学系国際推進室 (R5～)

工学研究院附属国際教育支援センター (H29～R4)

工学系国際交流支援センター (H28)

工学系国際交流支援室 (H22～H27)

### 1. 学生海外短期派遣プログラム

**ELEP** (H24～ 米国・サンノゼ州立大学)

**Q<sup>2</sup>PEC** (H27～ 豪州・クイーンズランド大学)

### 2. 組織的国際連携による工学系グローバルリーダー養成プログラム (ANGEL)

(H31/R1～ ケンブリッジ大学ほか)

### 3. 九州大学-クイーンズランド大学 短期派遣受入プログラム (UQ-JPIE)

(H29～ クイーンズランド大学機械鋳山工学部)

### 4. 九州大学-ルンド大学 ダブルディグリープログラム

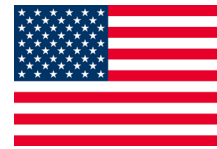
(H22～ ルンド大学工学部)

# 1. 学生海外短期派遣プログラム

工学部・工学府では、国際社会で活躍する人材を育成するため、日本人学生向けに年2回部局独自の海外短期留学プログラムを企画・実施し、プログラム全般の支援を行っている。

## – **ELEP** (イーレップ)

Engineering Leaders English Program



## – **Q<sup>2</sup>PEC** (キューペック)

Qshu-Queensland Program for English Communication



ELEP・Q<sup>2</sup>PEC共に  
JASSO(日本学生支援機構)海外留学支援制度に採択



- 実施期間: 5週間 (2月~3月)
- 派遣先: 米国・カリフォルニア州・サンノゼ
- 派遣人数: 30人
- 受入機関: サンノゼ州立大学  
International Gateway



## ➤ 目的

英語研修に加え、起業家やベンチャー・キャピタルの方々の講義、シリコンバレーにある大学やハイテク企業等へのフィールドトリップに参加しながら、下記の目標達成を目指すプログラム。

(平成24年度より実施)

「工学系学生を対象に、シリコンバレーにおける英語及びアントレプレナーシップ研修を通じて、イノベーションを起こす、グローバルに活躍できる人材を養成すること」

# 1-2. 学生海外短期派遣プログラムELEP ～ 内容 ～

	Mon. to Fri.
Week 1-3	プレゼンに特化した英語研修 / 起業家等による講演
Week 4	プレゼンに特化した英語研修 / Final Presentation
Week 5	フィールド・トリップ
Week 6	ZTO (Zero To One Project)



- 「自分の考え(言いたいこと)を英語で伝える」大切さを学ぶ
- 主なフィールド・トリップ先  
スタンフォード大学 Google HP Plug and Play など
- ZTOとはデザイン思考のメソッドに基づいて、無(ZERO)から何か(ONE)を作り出し、問題を解決する力を伸ばす仮想起業プログラム



# 1-3. 学生海外短期派遣プログラムELEP ～ 起業家やベンチャーキャピタル講義 ～

6



## 現在までの主な講師

伊佐山元氏 (DCM ,パートナー)

「イノベーションはどこから生まれるのか？」

Anis Uzzaman氏 (Fenox VC, CEO)

「シリコンバレー流・ベンチャー企業の作り方」

原口博行氏 (Canon USA, Vice President & GE)

「キャノンのイノベーション」

池野文昭氏 (スタンフォード大学, 主任研究員)

「Innovation」

松坂秀二郎氏 (九大客員教授、元MegaChip社CFO)

シリコンバレー在住

「会計の基礎知識、ビジネス論」



# 1-4. 学生海外短期派遣プログラムELEP ～ フィールドトリップ先 ～

7

- Apple
- Google Inc.
- Adobe Systems Inc.
- Hewlett Packard Enterprise
- IBM
- Plug and Play Tech Center
- LinkedIn
- Nissan North America
- Intuitive Surgical Inc.
- Liquid Robotics
- Bloom Energy Corporation
- Rakuten USA
- Stanford Univ.





# 1-5. 学生海外短期派遣プログラムELEP ～ ZTO (Zero to One) Project ～

## - Design Thinking Workshop

WiL社-World Innovation Lab指導のもと

デザイン思考の基本を学び、実際にデザイン思考を体感



## - 仮想起業

グループ別仮想起業および発表



# 1-6. 学生海外短期派遣プログラム ～ 派遣前事前教育 ～

- Show and tell

担当講師: Dr. James Cannon (国際教育支援センター教員)

内容: Show and Tellの技法を利用して自己紹介などを実践的に習得

- Presentation Lecture and workshop

担当講師: Dr. Andrew Robertson (国際教育支援センター教員)

内容: プレゼンテーションの基本を習得し個人発表を行う

- Business Thinking Lecture and workshop

担当講師: Dr. Darren Wall (国際教育支援センター教員)

内容: ビジネスの種を見つけ、効果的な発表方法を習得し発表を行う

- 実践英会話

担当講師: Dr. 許斐 ナタリー (国際教育支援センター教員)

内容: 現地で必要となる英会話力を実践的に習得

- エネルギー物質科学特別講義

担当講師: Dr. Kazuhiro Nogita (UQ教員)

内容: 英語による工学系講義(エネルギー)を受講



### ELEP : 現地支援

- 全体スケジュール調整
- 有識者講演、講師アレンジ
- フィールドトリップ先アレンジ
- SJSU講師との共同授業(日本文化)アレンジ
- ガイダンス実施
- 現地での学生サポート補助など



現地オリエンテーション

### Q<sup>2</sup>PEC : UQ-KU Project 九州大学研究教育拠点

- 説明会・ガイダンスへのSkype参加
- 事前特別講義
- 九大生プレゼン会場準備
- UQ工学部研究室訪問先アレンジ
- UQ学生とのFarewell BBQ準備(会場・食事)



拠点長 UQ 野北教授

# 1-8. 学生海外短期派遣プログラム ～ 現地学生との交流 ～

## ELEP

- Welcome Party & Farewell Party  
I-Gateways 講師およびSJSU学生との交流
- SJSUで日本語・日本文化を学ぶ講義へ参加  
日米の文化の違いを発表し、諺や落語を紹介

## Q<sup>2</sup>PEC

- Welcome Party  
九大生による福岡・九大紹介プレゼンを実施し  
その後、参加者とランチを取りながら交流
- Workshop  
国境無き技師団(UQ工学部生所属)workshopに参加  
水ろ過装置・義肢の作成を試みる



# 1-9. 学生海外短期派遣プログラム ～ 派遣後の活動～

- 報告会実施

帰国後に学生・教員を交え報告会を実施し、研修成果を発表

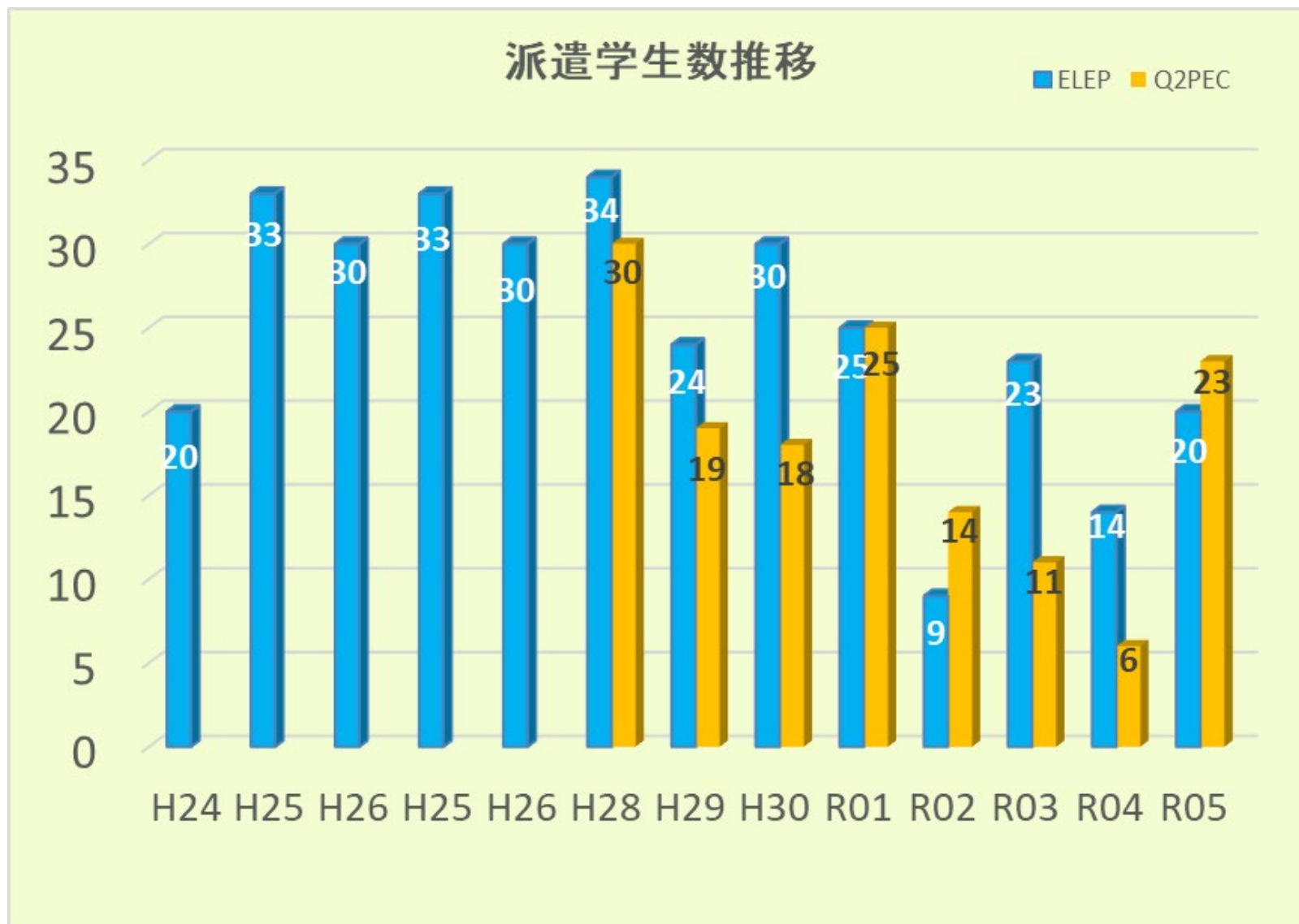


- 単位認定(参考科目として4単位)

	学部生	学府生
ELEP	国際イノベーション入門	国際イノベーション特論
Q <sup>2</sup> PEC	国際オープンマインド入門	国際オープンマインド特論

# 1-10. 学生短期派遣プログラム

～ 派遣人数（現在までに339名派遣）～



# 1-11. 学生海外短期派遣プログラム ～ 参加者の声 ～

参加して後悔したことは全くありません。英語力や起業家精神は勿論、これからも大事にしたい人間関係を築くことができ、私にとって良いことづくめの留学でした。確実に、人生のターニングポイントになったと思います。

海を隔てた地で一生懸命勉強に励んでいる学生を目の当たりにして、自分自身の勉強に対する不真面目さを改めて認識し、彼らと肩を並べるためには一層の努力をしなければならないと強く感じた。

短期留学を経て、よりいっそう英語を勉強したいという思いが強くなった。英語で伝える事の楽しさ、自分の英語が伝わる喜びを知った。

「もっと勉強をがんばろう」、「日本に帰っても継続的に英語の勉強を頑張っていきたい」、「いろいろなことにチャレンジしたい」と思った。

詳しい報告書は九州大学工学系国際推進室web-siteをご覧ください  
<https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/elep.html>

# 1-12. 学生海外短期派遣プログラム ～ 派遣後の効果 ～

- ・ 学習・研究意欲の増大
- ・ 国際レベルの認識
- ・ 英語に対する弱点克服
- ・ 英語プレゼン力向上
- ・ 海外からみた日本の状況理解
- ・ 外向き志向(海外を視野に入れる)
- ・ コミュニケーション能力向上
- ・ **九大起業部入部**
- ・ **協定校への交換留学**
  - ・ パリ国立高等鉱業学校・シンガポール国立大学
  - ・ バージニア工科大学・ミシガン大学・アリゾナ大学等
- ・ **ルンド大学DDP 交換留学**
- ・ **インターンシップ参加(西・独・ニュージーランド・アジア等)**
- ・ **QRECチャレンジ&クリエイション(C&C)採択**
- ・ **山川賞受賞**





# おわりに

- ・九州大学工学部では、国際社会で活躍する人材を育成するため、日本人学生向けに年2回部局独自の海外短期留学プログラムを10年に亘って行なってきた。
- ・「自分の考え(言いたいこと)を英語で伝える」力を付けさせたい
- ・「工学」の重要性に気が付き、Zero to One ができる人材を育てたい

## <Engineering Leaders English Program>

実施期間:5週間 (2月~3月)

派遣先:米国・カリフォルニア州・サンノゼ

派遣人数:30人程度

受入機関:サンノゼ州立大学International Gateway

目的:

シリコンバレーにおける英語及びアントレプレナーシップ研修を通じて、イノベーションを起こす、グローバルに活躍できる人材を養成する



## <Qshu-Queensland Program for English Communication>

実施期間:5週間 (8月~9月)

派遣先:豪州・クイーンズランド州・ブリスベン

派遣人数:20人程度

受入機関:TAFE・クイーンズランド大学

協力機関:UQ-KU Project 九州大学研究教育拠点

目的:「英語によるコミュニケーション能力の向上」と「異文化交流」に焦点

